

総務

消防団運営経費

〔質問〕活動日数が多ければ団員の負担もふえるため、この日数などに一定の基準を設けることが必要ではないかと思うが、各支団間でお互いの活動内容等を知り、情報交換ができる場や機会は設けているのか。

〔答弁〕方面隊ごとの会議、方面隊長以上や支団長以上の会議などがあり、情報の共有は図られていると思うが、平準化するまでは至っていない。ほかの支団の状況を知ることも必要であるため、さらに情報交

文教福祉

民生委員・児童委員経費

〔質問〕民生委員の選任に当たって年齢等の資格要件があるのか。

〔答弁〕新任の場合、原則65歳未満としているが、地域の実情により、75歳未満でも可としている。なお、再任の場合は、75歳以上でも1期のみは可としている。

〔質問〕民生委員に欠員が生じた場合、後任者を選定するのが困難と聞くが、これを解消するためにどのような対策をとっているのか。

換を密にするようお願いしていきたい。

〔質問〕団員の年齢構成を見ると20代以下の減少が顕著であるが、その理由をどのように捉えているか。

〔答弁〕以前は、地元に残り就職し、消防団に入団する人が多かったが、現在は地元に残る若者が減り、残っている若者もほとんどが会社員で仕事の都合上、活動ができないとのことが入団を断られるケースもあると聞いている。

〔質問〕新たな入団者がいなければ消防団

るのか。

〔答弁〕欠員が生じた地区の候補者の選定は、自治会だけに依頼するのではなく、地域の実情に詳しい各団体の役員等による推薦会を開催し、候補者を選定してもらうことになっている。その他、民生委員の負担軽減を図ることを目的に福祉協力員の配置を今年度から始め、地域で支え合う活動ができるような環境整備を進めている。

〔質問〕活動費補助金は、定期的に見直ししているのか。

〔答弁〕合併後は改定していない。

の存続も危ぶまれるが、今後の消防団のあり方や運営方法等については、どのように考えているか。

〔答弁〕入団しやすい、魅力ある消防団の構築を模索していく必要があると考えており、その検討への協力を幹部の方々にもお願いしている。また、これに合わせて福利厚生の実を図っていきたい。

〔質問〕他自治体と比べて、本市の消防団の報酬額や費用弁償額が非常に低いが、この金額についてこれまで検討したことはあるのか。

〔質問〕民生委員の活動量が増大し、比例してその負担も大きくなっているため、活動費補助金の見直しの検討が必要ではないか。

〔答弁〕活動費補助金の2分の1を県補助金で賄っているため、県への要請を行うとともに、市負担分についても検討したい。

児童クラブ運営経費

〔質問〕待機児童の人数は。

〔答弁〕平成27年4月は68人、平成28年4月は83人である。

〔答弁〕合併する際、消防団の報酬額や費用弁償額については、旧佐賀市が高く、旧町村が低い状況にあったため、全体的には金額を上げ、統一化を図った。しかし、合併後は見直しを行っていないため、報酬等の金額だけではなく福利厚生や手当てのあり方も含めて、今後の検討課題だと考えている。

〔審査結果〕全ての議案について、認定すべきものと決定。第64号議案について附帯決議案を全会一致で可決。

常任委員会(決算審査)

〔質問〕児童1人当たりの面積を満たしていないクラブや待機児童がいるクラブもある状況だが、今後、放課後児童クラブ専用館の整備等を拡充していく考えがあるのか。

〔答弁〕まずは学校の余裕教室を確保し、クラブ室を整備したいと考えているが、余裕教室がない学校では、専用館等の検討を今後進めていきたい。

〔審査結果〕全ての議案について、認定すべきものと決定。第64号議案について附帯決議案を全会一致で可決。



経済産業

諸富家具団体等支援事業

〔質問〕 何をもちて諸富家具とするというよつな基準があるのか。

〔答弁〕 諸富家具振興協同組合は、諸富家具憲章を制定するなど、積極的な取り組みが行われているが、さまざまな業種があるため、統一した基準を設定することは難しいと聞いている。基準について話を持ちかけると同時に、引き続き質の高い諸富家具を追求すべく、相互に努力していきたい。

〔質問〕 消費者が諸富家具ということが一目でわかる表示などはされているのか。

〔答弁〕 mimowoodという表示があるが、なかなか浸透していない状況である。

〔質問〕 バルーンフェスタ会場でも展示されているが、あくまで一時的なものである。日常的に市民の目に触れるよつな環境づくりが必要だと思つがどうか。

〔答弁〕 メーカーの相手は、あくまで販売店や問屋であり、東京のインテリアアショッブ等で販売されていても、地元で購入できない場合さえある。地元で家具を買うこと

ができる機会をいかにつくっていくかが課題であり、県内での販売について話をしているところである。組合は、平成26年度から、「家具のまち」としての認知度向上や消費拡大を目指した、企業、地域が一体となった取り組みについて議論され、平成27年度からは、家具店が連携した「かぐづら」という取り組みを展開されている。

〔質問〕 大川市でも、大川家具に対するさまざまな支援を行っていると思うが、大川市と行政間の連携を行っているのか。

〔答弁〕 現在、連携は行っていない。

〔質問〕 PRの方法などについて、情報交換や連携を行う必要があると思うがどうか。

〔答弁〕 今後、連携を検討したい。

〔意見〕 ニーズの市場調査が必要であるとともに、一つの選択肢として、高齢化社会に向けた諸富家具という位置づけの検討も必要ではないかと考える。

〔審査結果〕 全ての議案について、認定すべきものと決定。第64号議案について附帯決議案を全会一致で可決。

常任委員会（決算審査）

建設環境

神水川公園維持管理費

〔質問〕 指定管理者が徴収する入場料の取り扱いについての考えは。

〔答弁〕 指定管理者の考え方は、行政の管理・運営よりも民間のノウハウを駆使していただくことで、より高品質のサービスを提供していただくところにある。指定管理者の努力により収入が増えた場合、そこにインセンティブが働き、新たなサービスを生かしてもらふことも期待している。

大和中央公園花しょうぶ園補修経費

〔質問〕 来場者の安全面を考えると手すりや橋などの改修を急ぐべきだと思つが。

〔答弁〕 改修を急ぎたい。ただ、太鼓橋については、改修するのか、撤去するのかを検討したい。

〔質問〕 通年の活用を検討することはできないか。

〔答弁〕 開園している期間以外の活用策についても検討していきたい。

洞鳴の滝小水力発電活用事業

〔質問〕 小水力発電施設の施設整備後の活用についての考えは。

〔答弁〕 地元の方が使える施設にしたいと考えており、発電はもとより、地元では精米や物品の販売、周辺の土地を活用したイベントの開催などを検討されている。市内唯一の小水力発電施設であることから、啓発を含めた活用方法について、地元と協議を進めていきたい。

〔質問〕 三瀬村過疎計画に整備計画が盛り

込まれてから約17年になるが、関係各所との連携及び事業の進捗状況は。

〔答弁〕 地元に加え、支所や農林関係、企画関係の部署を交え話し合いを行っている。これから発電機や建物などが目に見える形となるため、これを契機にさらなる事業の進捗が期待できると考えている。

〔意見〕 地元の方や関係各所も事業全体のイメージがしやすくなると思つので、今後関係各所と連携を取ってもらいたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、認定すべきものと決定。第64号議案について附帯決議案を全会一致で可決。